

IGA

セントマーチン大学を卒業して・・・

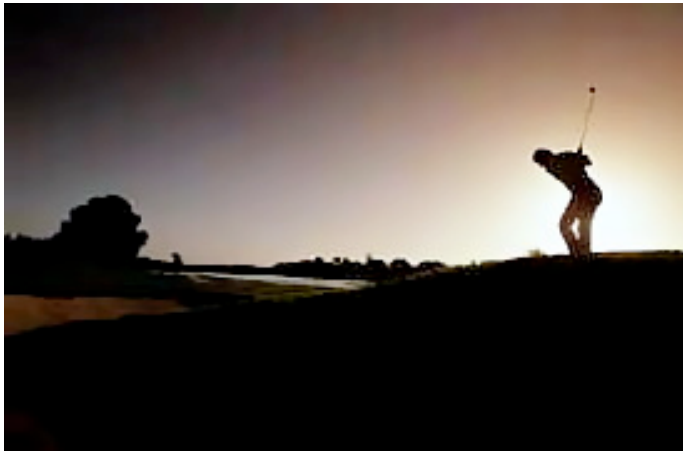
根津博嗣

IGAに来て約7年が経ち、今年地元のセントマーチン大学を卒業しました。大学に入って、今まで知らなかったことや、考え方などたくさんのことを学び、たくさんの人達と出会うことができました。こうして、大学に入り、卒業できて、4年間ゴルフ部に所属して、貴重な体験ができたことも、全てたくさんの人との出会い、多くの人達の助けがあって初めて達成できたことだと思います。IGAに来てなければ、

きっとこうしてアメリカの大学を卒業しようということも考えていなかったかもしれません。IGAにはたくさんの各大学のゴルフ部の生徒が訪れますので、大学でのゴルフ部の様子が知れたのもよかったです。

そんな4年間の大学生活の中で、特に思い出深いのはチームのキャプテンになり、スカラシップもあげてもらい、責任も重くなった最後の年。正直この一年は責任感と、勉強と、ゴルフに押しつぶされそうになったときもありました。それを最後までやりきって、今こうして卒業という節目の時を迎えられたことは何よりも自信になりました。チームメート、仲間との遠

征は楽しいものですよ。全ての遠征に思い出があります。4年間大学の試合で優勝することを目標に、何が必要なのかずっと追いかけてきました。そして、4月もしかしたら最後になるかもしれない、GNACチャンピオンシップ。雪が降って、中断されながらの荒れた試合になりました。誰もが中止を予想してる中、自分はどうしてもやりたかった。4年間があまりに楽しくて、大変だったけど、最高のゴルフ部生活だったから、終わりにしたくなかったというのが正直なところ。祈りは通じて、雪がちらつく中を再開。そして、大学の試合ではベストの65でその日を終え、2位と4打差首位で最終日を迎えることになりました。追ってくる2位はアメリカ代表。それでも最終日、お互いにバーディの取り合いのいい試合になりました。逃げ切ることの辛さ、“試合”に出ることの本当の意味を知った





日でした。最後は2打差で振り切り、最後の試合で目標だった大学優勝を飾り、最高の形で大学生活、部活生活を終えることができ、今でも夢のような4年間でした。試合はやっぱり優勝争いできる位置にいると全然違いますね。その位置にいられることが、プレイヤーとして一番幸せなことなのかなあと思いました。各校のライバルたちとも会話をし、そして、別の試合で再会し、声をかけあって、アメリカ全国いろんなところに知り合いができるのもすばらしいことだと思います。試合で

も、色々な国の人達と出会うことができますよ。そこで出会ったライバルが、将来自分にとって貴重な出会いになるかもしれません。

4年間大学にいて、一番学んだことは、いかに人との出会いが大事かということです。そして、出会いを無駄にせず、チャンスを逃さない積極性や貪欲さは必要なのかもしれません。チャンスは、アンテナをたてていればたくさんあなたの目の前にもあるわけで、でも多くの場合見逃してしまってるのかもしれない。そこにチャンスがあるなら、そこに可能性があるなら、“まずやってみなけりゃわからない!”ただ黙ってチャンスを恐れて逃すよりは、チャレンジしてみても思いっきり失敗する人のほうが数倍かっこいいと思います。ネガティブで引っ込み思案だった自分が、この4年間で一番変わって成長できた部分です。このような大学生活へ導いてくれたジョーさん高橋さん、IGAには本当に感謝しています!ありがとうございました!これからもたくさんのチャレンジャーをIGAは生んでくれるものだと、一卒業生として、これからは見守っていきたいと思います!

International Golf Academy

8030 72nd SE

Olympia, WA 98513 U.S.A.

<http://www.seattleinternationalgolfacademy.com>

E-mail: noriko@seattleinternationalgolfacademy.com